



FUJIBO

The Focus on Innovation

第**199**期 中間報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



代表取締役会長兼社長

中野 光雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第199期上半期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、記録的な豪雨や台風、地震など相次ぐ自然災害や、米国発の貿易摩擦問題など海外経済の不確実性により、先行きは不透明な状況が続きました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『加速17-20』において、計画期間の前半2年間で拡大に向けての「変革の加速」ステージと位置づけ、基本戦略である「収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大」のための基盤創りと、「繊維事業の構造改革による反転攻勢」に取り組んでおります。

この結果、当中間期の連結売上高は前年同期比160百万円（0.9%）増収の17,750百万円、営業利益は218百万円（11.1%）減益の1,745百万円、経常利益は335百万円（15.4%）減益の1,845百万円となりました。これから特別損失、法人税等を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比246百万円（17.1%）減益の1,194百万円となりました。

なお、当事業年度の中間配当金につきましては、中長期的な企業価値向上のための成長投資に振り向ける内部留保を勘案し、長期安定的な株主還元の見地から、1株当たり50円とさせていただきます。

当社は、2017年度から2020年度までを計画期間とする中期経営計画『加速17-20』を実行しております。本中期経営計画では、計画期間の前半2年を更なる拡大のための基盤創りを加速する「変革の加速」ステージ、後半2年は企業価値拡大を加速する「成長の加速」ステージと位置づけ、計画最終年度の2020年度連結ベースの経営指標として、営業利益100億円、ROE15%以上を目標としております。この目標の達成に向け、利益重視に立脚した重点3事業の加速を基本方針とし、①収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大、②繊維事業の構造改革による収益力向上と反転攻勢および③成長加速に向けてのホールディングス機能の強化の3つの基本戦略をスピード感を持って実行し、当社グループの企業価値拡大を「加速」させてまいります。

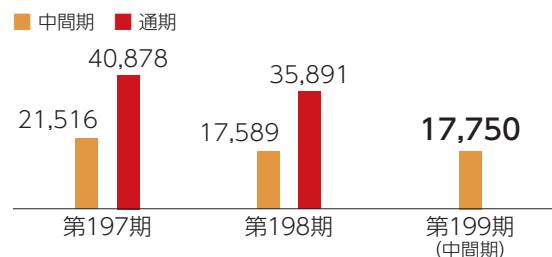
主力事業として成長を続ける研磨材事業では、拡大の基盤創りのため台湾に新工場を建設するとともに、事業拡大に向け創設しました専門マーケティング部隊が、新しい研磨工程・用途・領域への積極的な展開を進めております。化学工業品事業では、営業力強化による新規商材の獲得で、既存生産設備のフル稼働体制の構築を進めるとともに、事業規模拡大のための新規投資の検討を行っております。繊維事業では、ネット販売やレディス分野など新規商材・新規チャネルへの拡大加速で販売面での反転攻勢を進めております。また、販売環境にあわせた生産設備の見直しや徹底した在庫管理で、収益力向上のための絶えざる構造改革に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

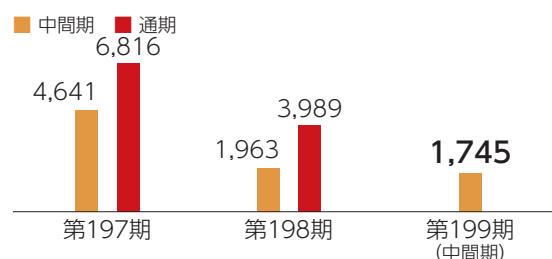
売上高

(単位：百万円)



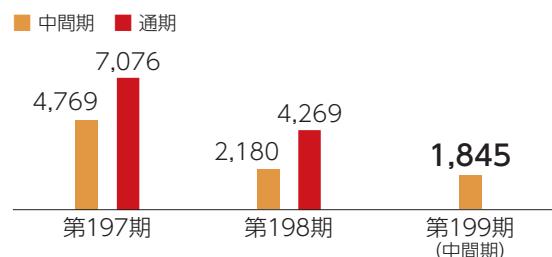
営業利益

(単位：百万円)



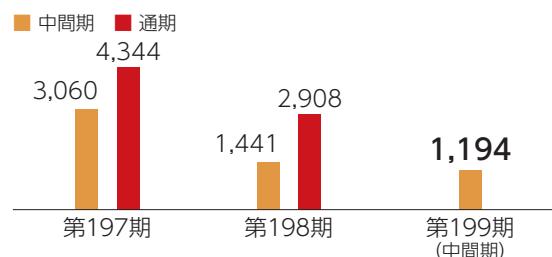
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



事業の概況



研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材のうち、半導体デバイス用途（CMP）等はメモリ・通信用途等を中心とした好調な半導体需要を受け拡大しました。ハードディスク用途もデータセンター向けサーバー用需要が底堅く、堅調に推移しました。液晶ガラス用途はパネル在庫調整が続き減少しました。

この結果、売上高は前年同期比160百万円増収の5,345百万円、営業利益は43百万円減益の1,048百万円となりました。



化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、機能化学品を中心とした新規受注により、堅調に推移しました。また、中国における環境規制の影響による化学工業品生産の日本国内回帰の傾向もあり、柳井工場・武生工場ともにフル稼働となりました。

この結果、売上高は前年同期比529百万円増収の5,140百万円、営業利益は62百万円増益の344百万円となりました。





繊維事業

アンダーウェアを中心とする繊維製品は、インターネットなど新規チャネルでの販売やレディースインナーは拡大を続けておりますが、衣料品売場の縮小が続く大手量販店でのメンズインナー定番品の販売が減少しました。繊維素材は、販売数量は堅調に推移しているものの、原材料価格の高騰により製造コストが上昇しました。

この結果、売上高は前年同期比363百万円減収の5,791百万円、営業利益は184百万円減益の325百万円となりました。



その他の事業

貿易事業は、農業用機械などの輸出は安定的に推移した一方、車両・タイヤなど自動車関連は大幅に取引が減少しましたが、収益性の高い商材への集中と間接経費削減で利益は改善しました。化成品部門は、デジタルカメラ用部品および医療機器用部品が堅調に推移しましたが、10月1日付で取得しました子会社株式の取得関連費用が発生しました。

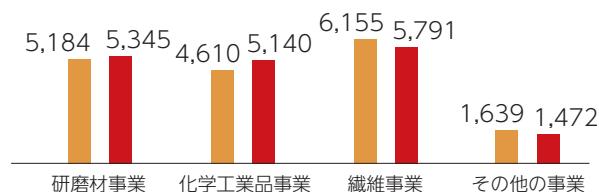
この結果、売上高は前年同期比166百万円減収の1,472百万円、営業利益は54百万円減益の26百万円となりました。



売上高

(単位：百万円)

■ 17年9月期 ■ 18年9月期



営業利益

(単位：百万円)

■ 17年9月期 ■ 18年9月期



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前 期	科 目	当中間期	前 期
	2018年9月30日 現 在	2018年3月31日 現 在		2018年9月30日 現 在	2018年3月31日 現 在
資産の部	49,811	48,390	負債の部	17,549	16,241
流動資産	19,486	19,141	流動負債	10,599	9,259
現金及び預金	4,347	4,764	支払手形及び買掛金	4,808	4,048
受取手形及び売掛金	9,072	8,843	電子記録債務	468	510
商品及び製品	2,292	2,220	短期借入金	274	1,217
仕掛品	2,234	1,736	未払法人税等	538	325
原材料及び貯蔵品	1,155	1,064	賞与引当金	664	659
その他	400	528	返品調整引当金	39	42
貸倒引当金	△17	△17	その他	3,804	2,456
固定資産	30,325	29,248	固定負債	6,950	6,982
有形固定資産	27,180	26,258	長期借入金	53	120
建物及び構築物	5,838	5,985	退職給付に係る負債	4,947	4,947
機械装置及び運搬具	5,381	5,250	資産除去債務	242	240
土地	13,850	13,874	その他	1,706	1,674
その他	2,110	1,147			
無形固定資産	343	380	純資産の部	32,261	32,148
投資その他の資産	2,801	2,610	株主資本	29,958	29,907
その他	2,801	2,610	資本金	6,673	6,673
貸倒引当金	△0	△0	資本剰余金	2,174	2,174
資産合計	49,811	48,390	利益剰余金	21,683	21,631
			自己株式	△572	△571
			その他の包括利益累計額	2,303	2,240
			その他有価証券評価差額金	804	668
			繰延ヘッジ損益	2	△8
			土地再評価差額金	1,270	1,272
			為替換算調整勘定	228	330
			退職給付に係る調整累計額	△3	△21
			非支配株主持分	0	0
			負債純資産合計	49,811	48,390

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2018年4月1日～ 2018年9月30日	2017年4月1日～ 2017年9月30日
売上高	17,750	17,589
売上原価	11,667	11,400
売上総利益	6,082	6,188
販売費及び一般管理費	4,336	4,225
営業利益	1,745	1,963
営業外収益	168	296
受取利息	2	2
受取配当金	26	26
固定資産賃貸料	117	116
補助金収入	—	135
その他	21	14
営業外費用	68	78
支払利息	4	6
固定資産賃貸費用	32	32
コミットメントフィー	16	17
その他	14	22
経常利益	1,845	2,180
特別利益	—	4
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	4
特別損失	45	103
固定資産処分損	34	50
減損損失	8	9
関係会社清算損	—	41
その他	1	1
税金等調整前四半期純利益	1,800	2,082
法人税、住民税及び事業税	598	569
法人税等調整額	7	72
四半期純利益	1,194	1,441
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,194	1,441

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2018年4月1日～ 2018年9月30日	2017年4月1日～ 2017年9月30日
営業活動によるキャッシュ・ フロー	2,394	884
投資活動によるキャッシュ・ フロー	△556	△1,606
財務活動によるキャッシュ・ フロー	△2,202	△1,835
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△49	△3
現金及び現金同等物の 増減額(減少:△)	△414	△2,561
現金及び現金同等物の 期首残高	4,694	8,697
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,280	6,135

トピックス

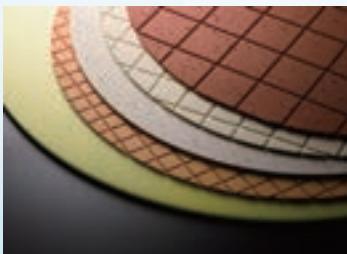
Topics 1

研磨材事業

いい磨きで、IoT、AIの進化に応える

産業や社会の仕組みを更に便利で快適なものにするIoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）に注目が集まっています。

IoTやAIを支えるのが、大量の情報やデータを瞬時に認識し、制御する半導体デバイスです。近年、高精度な半導体デバイスであればあるほど、回路の多層化や微細化が進んでおり、その製造工程において“化学的機械的平坦化”を意味するCMP



プロセスの重要性がますます高まっています。

CMP用途の研磨パッドを製造・販売するフジボウ愛媛(株)では、CMP研磨設備を世界のトップを走る半導体メーカーが導入を始めた最新鋭設備と同等のものに更新しました。この設備で自社の研磨パッドの性能を評価・検証することにより、顧客ニーズに応える優れた研磨パッドの開発を加速し、研磨材の拡販に努めていきます。



Topics 2

化学工業品事業

幅広い有機化学合成品を受託製造し、更なる業容の拡大を目指す

化学工業品事業の中核を担う柳井化学工業(株)は、80年の歩みで培った技術の蓄積を活かし、機能化学用品および医薬中間体など幅広い分野の有機化学合成品の中間体を受託製造しています。

近年、紛体化した製品の需要が増えています。紛体は、固体でありながら気体・液体のように取り扱うことができ、また単位当たりの表面積が膨大なことなどの特性から、原材料としての優位性が高まっています。



一方、有機化学合成品の紛体化は、微細で均質であることが求められ、かつ熱での変質や、異物混入、外部への漏出は許されないなど様々な厳しい制約があります。

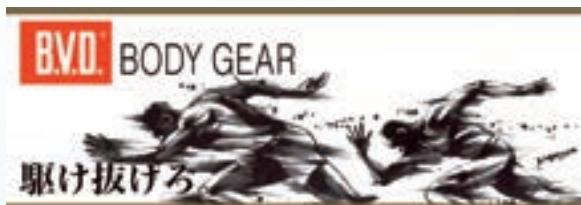
これに応えるため、柳井化学工業(株)ではクリーンルームに近い環境に縦型円錐型混合乾燥機（PVミキサー）や真空コニカル乾燥機など4種類の乾燥機のほか、分離・蒸留などの設備を更に充実させ、業容の拡大を図っています。



Topics 3

繊維事業

BODY GEARシリーズに墨絵アーティストを起用



東京オリンピックを前に、B.V.D.メンズではスポーツテイストインナー「BODY GEAR」のブランドビジュアルに世界的に有名な茂本ヒデキチ氏を起用しました。同氏のイラストは、和のイメージで躍動感、高揚感をダイナミックに表現するもの。羽田空港の国内線ターミナル内のボーディングブリッジ壁面に、オリン

ピックおよびパラリンピックの競技種目全50種を描くなど、オリンピックにつながる作品を手掛けています。

「BODY GEAR」シリーズは、優れた吸水速乾性と天然素材のような肌触りが特長。運動に適した素材・機能・形状を追求するとともに、普段も快適に着用できるようにデザインしました。多種多様なスポーツ、用途、体型に合わせて「レギュラー」「ミドル」「ロング」の3つのボトムスタイルから選べます。



Topics 4

繊維事業

新たな展開を見せる「REGAL」

アングル(株)は、お客様の快適な着心地を追求してまいりました。涼感に優れた「アサメリー」、心地よい暖かさの「エアメリー」は、全国百貨店の高級肌着売り場でご好評をいただいています。

こうした着る人に安らぎと満足感を与える確かな物づくりを活かし、アメリカントラディショナル・スタイルをベースに、1925年から時代の新しい感覚を取り入れながら展開する紳士肌着ブランドが「REGAL」です。



今般、紳士肌着はいずれもコットンの優しい風合いをそのままに、ベーシックインナーを中心としたグリーンラベル、

更に抗菌防臭機能や多色展開などバリエーション豊かなブラックラベルの2ライン構成で充実を図り、ブランドを活かした新展開を行っています。

繊維製品事業では、製品の充実を図るほか、好調なEコマースや通販などの販路拡大、生産体制の最適化にも取り組んでまいります。



会社概要

商号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大阪支社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設立	1896年3月24日
資本金	66億7383万2000円
従業員数	単体112名 連結1,413名
主要な事業内容	1. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 2. 各種化学工業品の製造、加工、販売 3. 各種繊維製品の製造、加工、販売

連結対象会社

■ 研磨材事業

フジボウ愛媛(株)
台湾富士紡精密材料股份有限公司
フジケミ(株)

■ 化学工業品事業

柳井化学工業(株)

■ その他の事業

フジボウ愛媛(株)
フジボウテキスタイル(株)
フジケミ(株)

(注) 当社は2018年10月1日付で(株)東京金型の全株式を取得しております。

■ 繊維事業

フジボウ愛媛(株)
(株)フジボウアパレル
フジボウトレーディング(株)
(株)フジボウソーイング

富士紡(常州)服装有限公司
ジンタナフジボウコーポレーション
フジボウテキスタイル(株)
タイフジボウテキスタイル(株)
アングル(株)
富士紡(上海)商貿有限公司

役員

代表取締役会長兼社長 社長執行役員	中野光雄
代表取締役 副社長執行役員	青木隆夫
代表取締役 専務執行役員	吉田和司
取締役 上席執行役員	木原勝志
取締役 上席執行役員	藤岡敏文
取締役	中野雅男
取締役	茅田泰三
取締役	秀島信也
常勤監査役	松尾弘秋
常勤監査役	大西秀昭
監査役	飯田直樹

(注) 1. 取締役の中野雅男、茅田泰三、秀島信也の3氏は社外取締役であります。
2. 監査役の大西秀昭、飯田直樹の両氏は社外監査役であります。

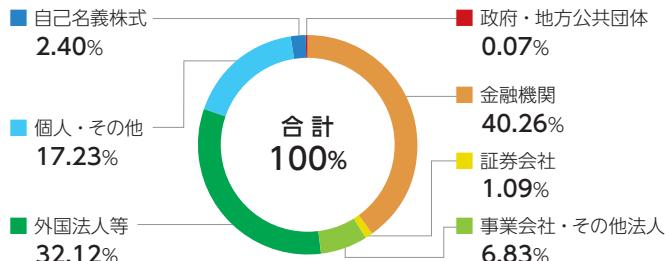
執行役員

上席執行役員	豊岡保雄
執行役員	鈴木眞
執行役員	野口篤謙
執行役員	岡田祐明
執行役員	井上雅偉
執行役員	竹内義一
執行役員	中村隆夫
執行役員	平野治

株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,720,000株
株主数	5,817名

所有者別分布状況

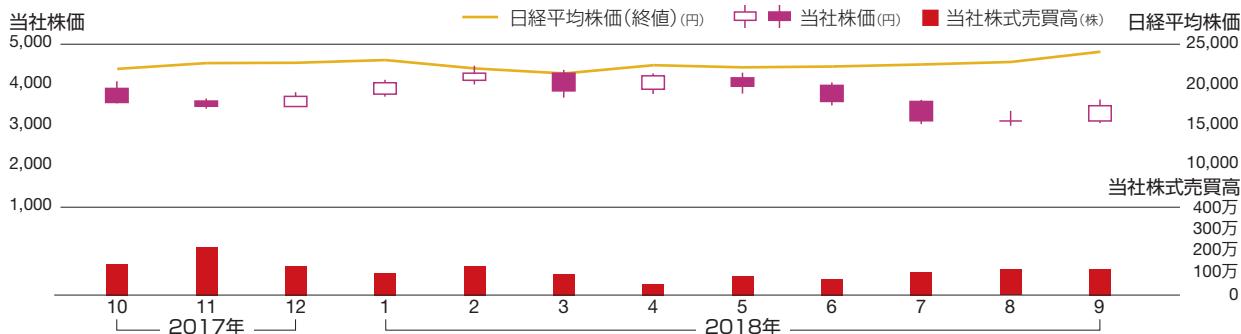


大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	869,600	7.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	671,600	5.87
明治安田生命保険相互会社	533,500	4.66
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	503,619	4.40
株式会社三菱UFJ銀行	500,000	4.37
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	452,500	3.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	329,900	2.88
三菱UFJ信託銀行株式会社	322,500	2.82
フジボウ共栄会	278,800	2.44
RE FUND 107-CLIENT AC	267,295	2.34

(注) 1. 当社は自己株式を281,653株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.fujibo.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告
によることができない場合は、東京都において
発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12
電話 03-3665-7777(代)



<https://www.fujibo.co.jp/>

